

2025年3月期 第3四半期決算



2025年2月5日
トヨタ自動車株式会社

トヨタのクルマをご愛顧いただいている
世界中のお客様、そして私たちの取り組みを
支えてくださる株主の皆様、
販売店・仕入先、全てのステークホルダーの皆様に
深く感謝申し上げます。

将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社および連結子会社（以下、トヨタという。）の見通し等の将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、トヨタが現在入手している情報を基礎とした判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来におけるトヨタの実際の業績と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確実性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 日本、北米、欧州、アジアおよびトヨタが営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争環境
- 為替相場（主として日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、加ドルおよび英国ポンドの相場）、株価および金利の変動
- 金融市場における資金調達環境の変動および金融サービスにおける競争激化
- 効果的な販売・流通を実施するトヨタの能力
- 経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率の実現と設備投資を実施するトヨタの能力
- トヨタが営業活動を行っている市場内における法律、規制および政府政策の変更で、特にリコール等改善措置を含む安全性、貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率の面などにおいてトヨタの自動車事業に影響を与えるもの、または現在・将来の訴訟やその他の法的手続きの結果を含めたトヨタのその他の営業活動に影響を与える法律、規制および政府政策の変更など
- トヨタが営業活動を行っている市場内における政治的および経済的な不安定さ
- タイムリーに顧客のニーズに対応した新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにするトヨタの能力
- ブランド・イメージの毀損
- 仕入先への部品供給の依存
- 原材料価格の上昇
- デジタル情報技術および情報セキュリティへの依存
- トヨタが材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、電力・交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況など
- 生産および販売面への影響を含む、自然災害および感染症の発生・蔓延、不安定な政治・経済、燃料供給の不足、社会基盤の障害、戦争、テロ、ストライキなどによる様々な影響
- 気候変動および低炭素経済への移行の影響
- 有能で多様な人材を確保・維持する能力

以上の要素およびその他の変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書（フォーム20-F）をご参照ください。

インサイダー取引に関するご注意：

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家（第一次情報受領者）は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています（金融商品取引法166条）。

同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知し

かつ内閣府令で定める電磁的方法（TDnetの適時開示情報閲覧サービス）により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。

2025年3月期 第3四半期決算サマリー

人への投資・成長投資を継続、産業全体の魅力を引き上げ、働く活力につなげていく

第3四半期
累計実績

営業利益3兆6,794億円（前期比△5,607億円）

- ・販売台数の減少や一時的な費用はあったものの、**第3四半期からの生産回復、改善努力の積み上げにより高水準の利益を確保**
- ・いかなる環境下でも、全員参加で地道に足場固め・改善活動を継続してくれた、仕入先・販売店を含めた全てのステークホルダーに感謝

見通し

営業利益4兆7,000億円（前回比+4,000億円）

- ・商品力やバリューチェーンも含めた改善努力に裏付けされた**稼ぐ力の向上の進捗**を織り込み、**上方修正**
- ・次の50年も成長し続ける強い基盤を構築するため、**人への投資・成長投資は、計画どおり年間8,300億円を実行**

CFO
メッセージ

- ・自動車産業で働く仲間のための環境整備を深いレイヤーまで波及・浸透
- ・モビリティカンパニーへの変革に向け、**成長投資を拡大**
(Woven Cityオープン / 中国BEV・電池新会社設立 / 米国電池工場稼働開始)

3

決算のサマリーから説明します。

当第3四半期累計の営業利益は3兆6,794億円となりました。販売台数の減少や一時的な費用はあったものの、第3四半期からの生産回復、営業面・原価改善の努力により、高水準の利益を確保。いかなる環境下でも地道に改善活動を継続くださった、仕入先・販売店を含めた、全てのステークホルダーの皆さまのご支援に感謝申し上げます。

通期見通しは、商品力やバリューチェーンも含めた改善努力に裏付けられた稼ぐ力の向上の進捗を織り込み、営業利益を4,000億円上方修正し、4兆7,000億円としました。

人への投資・成長投資は、計画どおり年間8,300億円を実行します。

産業全体の魅力を引き上げ、働くことのやりがい・活力につなげていきます。

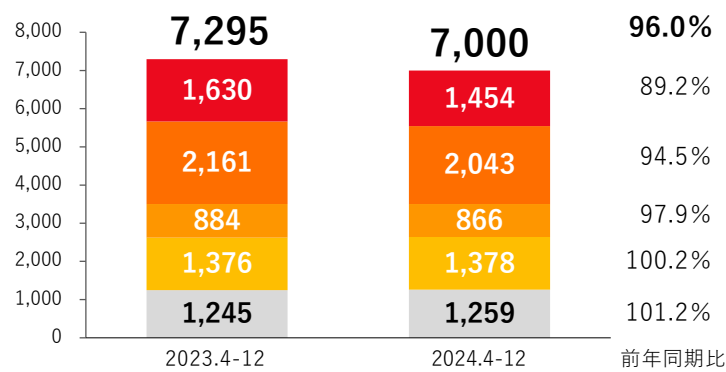
2025年3月期 第3四半期 実績

4

4月から12月までの、9ヶ月累計の実績です。

連結販売台数(9ヶ月累計)

(単位：千台)



ご参考 (小売)

項目	2023.4-12	2024.4-12	前年同期比 (%)
トヨタ・レクサス販売台数	7,908	7,758	98.1%
電動車 [比率]	2,837 [35.9%]	3,515 [45.3%]	123.9%
内、HEV	2,646	3,289	124.3%
PHEV	102	115	112.7%
BEV	87	110	126.9%
FCEV	3	1	34.1%
グループ総販売台数	8,564	8,295	96.9%

当期の連結販売台数は、前年同期に対して96.0%となる、700万台、トヨタ・レクサス販売台数は、前年同期に対して98.1%となる、775万8千台となりました。

認証問題への対応などによる前半期の台数減から、第3四半期は生産回復しています。

電動車比率は、北米・欧州など各地域で好調なHEVを中心に引き続き上昇し、45.3%となりました。

連結決算要約(9ヶ月累計)

(単位：億円)	2023.4-12	2024.4-12	増減
営業収益	340,227	356,735	+16,508
営業利益	42,402	36,794	△5,607
営業利益率	12.5%	10.3%	
営業外損益	11,168	17,506	+6,337
持分法による投資損益	5,961	4,547 *	△1,414
税引前利益	53,570	54,300	+730
親会社の所有者に帰属する当期利益	39,472	41,003	+1,531
当期利益率	11.6%	11.5%	
為替レート			
米ドル	143円	153円	10円円安
ユーロ	155円	165円	10円円安

* うち、日本3,286 (前年同期比+58)、中国686 (同△1,522)、その他574 (同+50)

6

当期の連結決算は、

営業収益 35兆6,735億円

営業利益 3兆6,794億円

税引前利益 5兆4,300億円

当期利益 4兆1,003億円

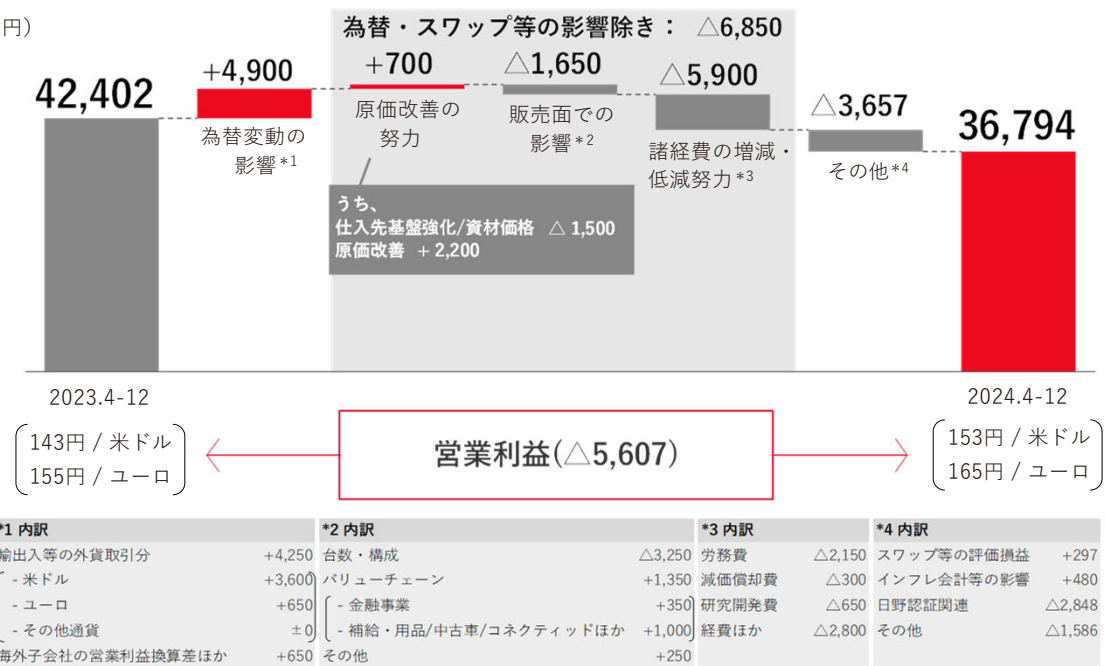
となりました。

当期利益は
前年同期から増益となりましたが、
主に、一時的な要因によるものです。

外貨建資産の保有方法の変更に伴い、
会計処理が変更となり、過去の蓄積分も含め、
当期に一時的な利益が発生したことによるものです。

連結営業利益増減要因(9ヶ月累計)

(単位：億円)



7

営業利益の増減要因です。

為替変動の影響により、4,900億円の増益。
原価改善の努力は、ネットで700億円の増益となりました。
グロスでは2,200億円の増益となり、
台数減やモデル切替の少ない厳しい環境下でも、
年間で3,000億円レベルを維持しています。

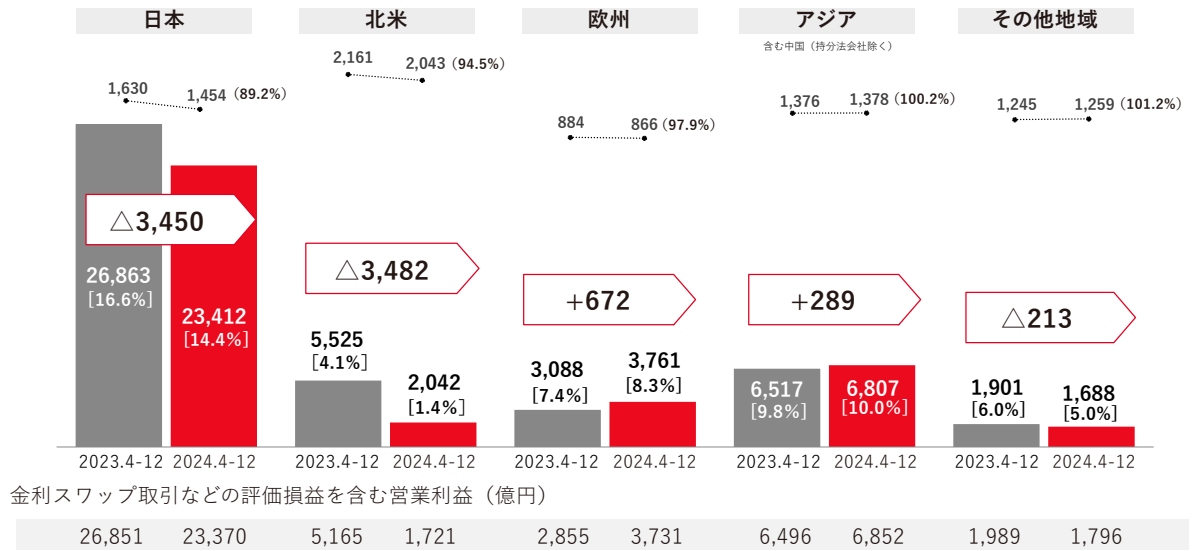
販売面での影響では、
バリューチェーン収益の拡大はあったものの、
生産停止の影響に伴う台数・構成の影響もあり、
1,650億円の減益となりました。

諸経費の増減・低減努力は、5,900億円の減益、
その他については、日野自動車関連の一時費用もあり、
3,657億円の減益となりました。

なお、人への投資3,100億円、成長領域への投資1,800億円が
含まれています。

所在地別営業利益(9ヶ月累計)

■ 営業利益 (億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く> [] 営業利益率 ◆---◆ 連結販売台数 (千台)



所在地別営業利益です。

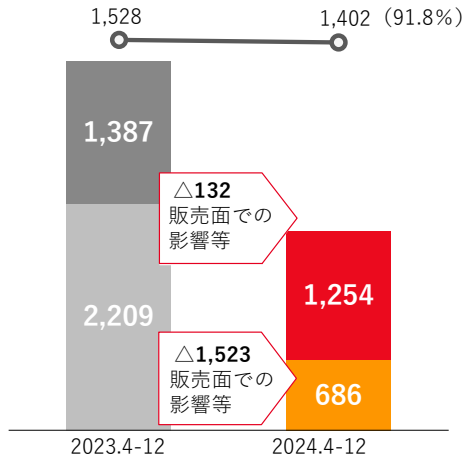
日本・北米は、販売台数の減少、人への投資等により減益、

欧州・アジアは原価改善の努力等により増益となりました。

中国事業/金融セグメント(9ヶ月累計)

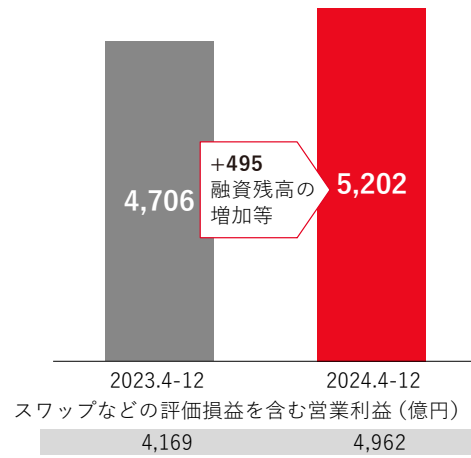
中国事業 (ご参考)

- 連結子会社 営業利益 (億円)
- 持分法適用会社 持分法による投資損益 (億円)
- トヨタ・レクサス販売台数 (千台)



金融セグメント

- 営業利益 (億円) <スワップなどの評価損益を除く>



中国事業の営業利益、および持分法による投資損益は、販売費の増加等により減益となりました。

金融セグメントは、融資残高の増加等により増益となりました。

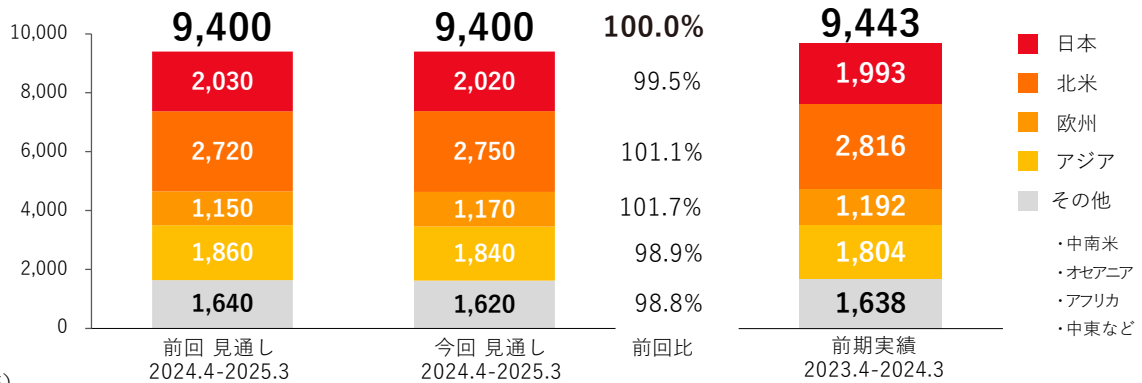
2025年3月期 見通し

10

続いて、2025年3月期の見通しについて説明します。

連結販売台数見通し

(単位：千台)



ご参考（小売）

トヨタ・レクサス販売台数	10,100	10,100	100.0%	10,309
電動車 [比率]	4,648 [46.0%]	4,659 [46.1%]	100.2%	3,855 [37.4%]
内、HEV	4,325	4,362	100.9%	3,594
PHEV	162	154	95.1%	141
BEV	160	142	88.8%	117
FCEV	1	1	100.0%	4
グループ総販売台数	10,850	10,850	100.0%	11,090

連結販売台数は、前回見通し据え置きとなる、940万台を見込んでいます。

トヨタ・レクサス販売台数も、前回見通し据え置きとなる1,010万台、電動車比率は46.1%を見込んでいます。

連結決算見通し要約

(単位：億円)	前回見通し 2024.4-2025.3	今回見通し 2024.4-2025.3	増減	前期実績 2023.4-2024.3
営業収益	460,000	470,000	+10,000	450,953
営業利益	43,000	47,000	+4,000	53,529
営業利益率	9.3%	10.0%		11.9%
営業外損益	6,800	14,800	+8,000	16,121
持分法による投資損益	5,900	6,000	+100	7,631
税引前利益	49,800	61,800	+12,000	69,650
親会社の所有者に帰属する当期利益	35,700	45,200	+9,500	49,449
当期利益率	7.8%	9.6%		11.0%
1株当たり配当金	90円	90円	±0円	75円
為替レート				
米ドル*	147円	152円	5円円安	145円
ユーロ*	161円	164円	3円円安	157円

* 第3四半期実績：米ドル153円/ユーロ165円、'25年1月以降の前提為替レート：米ドル150円/ユーロ160円

12

次に、連結決算の見通しです。

通期の為替レートの前提を、
ドル152円、ユーロ164円としています。

通期の業績見通しは

営業収益 47兆円

営業利益 4兆7,000億円

税引前利益 6兆1,800億円

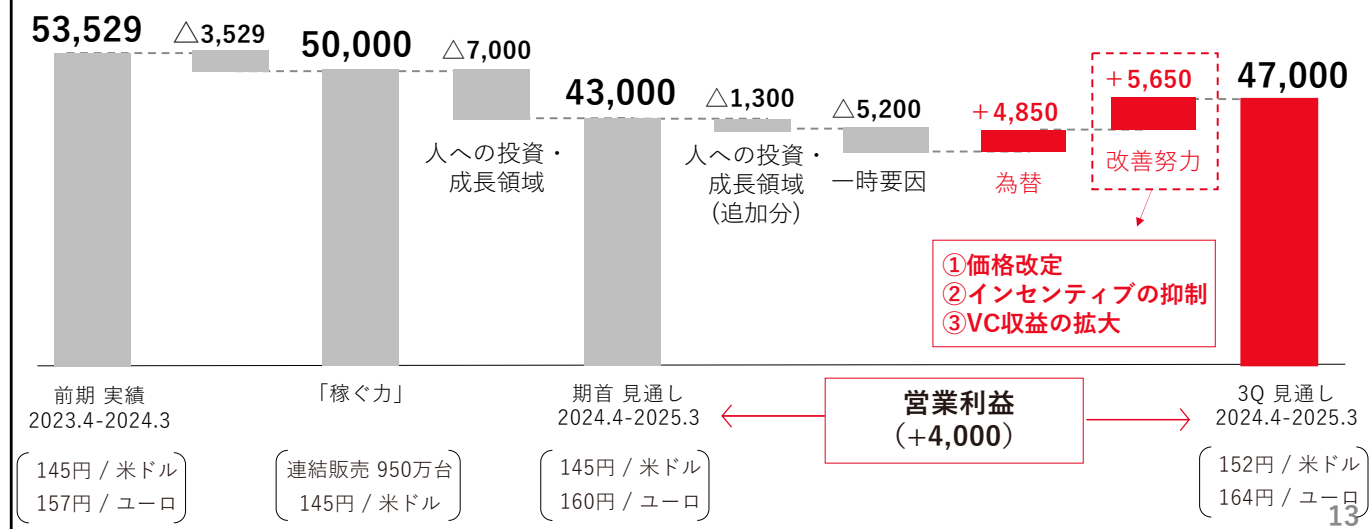
当期利益 4兆5,200億円

を見込んでいます。

連結営業利益増減要因(前期差)

- 将来に向けた、人への投資・成長領域への投資は計画通り進捗
- 商品軸・地域軸経営のもと、「もっといいクルマづくり」「町いちばん」の取組みを多くのステークホルダーと共に推進し、稼ぐ力が向上

(単位: 億円)



期初の時点では、稼ぐ力の5兆円を維持した上で、人への投資・成長領域への投資を7,000億円織り込み、4兆3,000億円を見込んでおりました。

第2四半期に人への投資を1,300億円を追加し、あわせて8,300億円となりますが、計画どおりに実施する予定です。

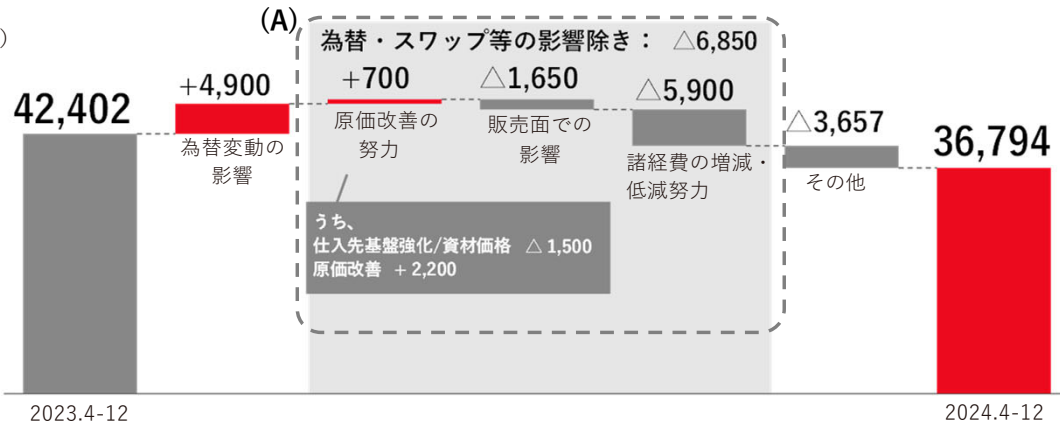
一連の認証問題への対応による減益要因は、当期9ヶ月の実績に概ね織り込まれました。

今回、営業利益見通しを4,000億円引き上げ、4兆7,000億円といたしますが、この上方修正は主に、改善努力を積みましてきたことによるものです。

詳細は後ほど、CFOの宮崎より説明します。

(ご参考)連結営業利益増減要因(9ヶ月累計)

(単位:億円)



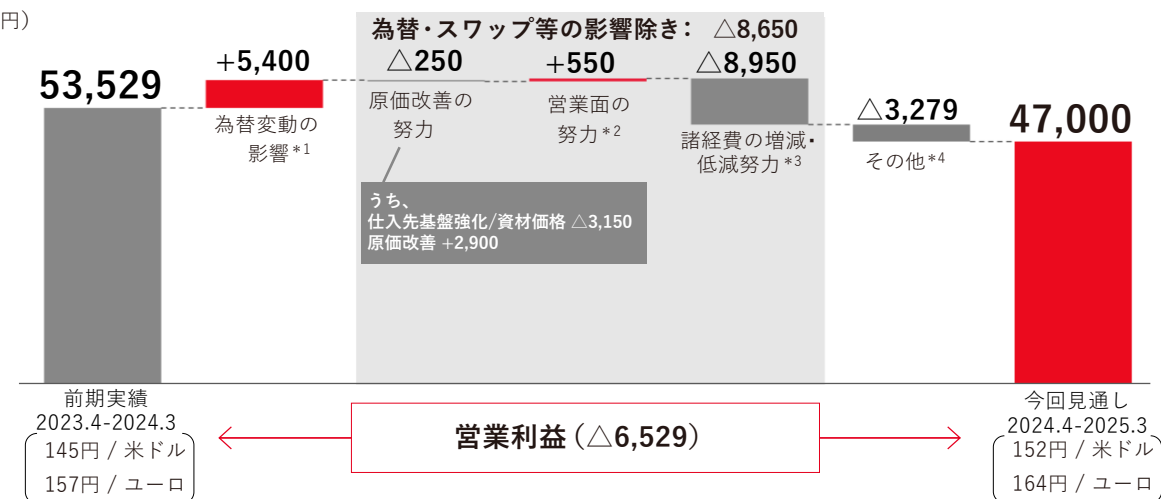
2023.4-12

2024.4-12

	原価改善の 努力	販売面での 影響	諸経費の増減・ 低減努力	計
①市場環境		$\Delta 2,750$		$\Delta 2,750$
②人への投資	$\Delta 2,200$	$\Delta 100$	$\Delta 800$	$\Delta 3,100$
③成長投資			$\Delta 1,800$	$\Delta 1,800$
(A)から①②③を控除	$+2,900$	$+1,200$	$\Delta 3,300$	$+800$

(ご参考) 連結営業利益増減要因(前期差)

(単位: 億円)



*1 内訳	*2 内訳	*3 内訳	*4 内訳
輸出入等の外貨取引分 +3,950	台数・構成 $\Delta 50$	労務費 $\Delta 2,350$	スワップ等の評価損益 +200
- 米ドル +3,700	バリューチェーン +1,700	減価償却費 $\Delta 1,300$	インフレ会計等の影響 +695
- ユーロ +650	- 金融事業 +350	研究開発費 $\Delta 1,000$	日野認証関連 $\Delta 2,848$
- その他通貨 $\Delta 400$	- 補給・用品/中古車/コネクティッドほか +1,350	経費ほか $\Delta 4,300$	その他 $\Delta 1,326$
海外子会社の営業利益換算差ほか +1,450	その他 $\Delta 1,100$		

(ご参考) 連結営業利益増減要因(前期差) 内訳

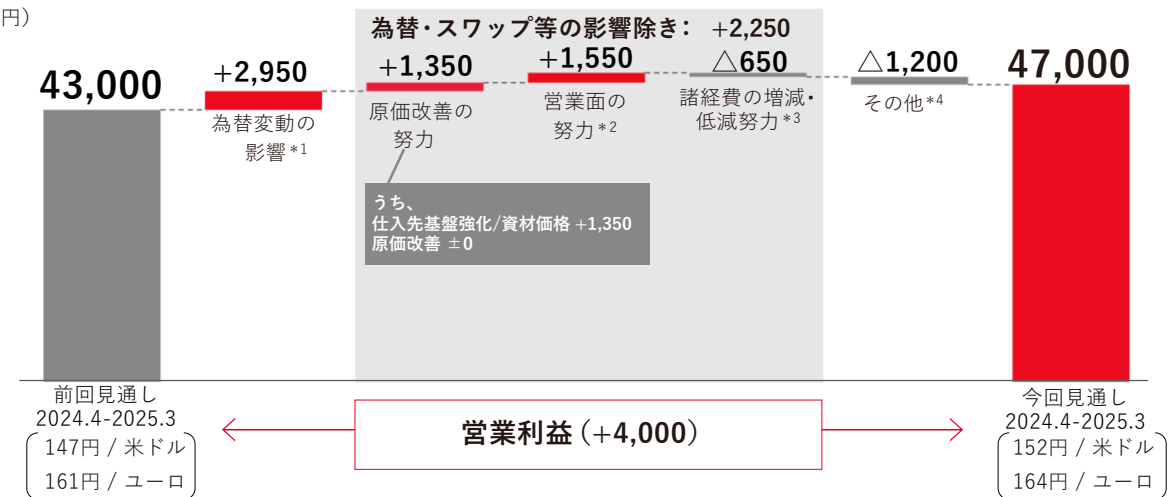
(単位: 億円)



	原価改善の努力	営業面の努力	諸経費の増減・低減努力	計
①市場環境		$\Delta 3,529$		$\Delta 3,529$
②人への投資	$\Delta 3,900$	$\Delta 200$	$\Delta 1,000$	$\Delta 5,100$
③成長投資			$\Delta 3,200$	$\Delta 3,200$
(A)から①②③を控除	+3,650	+4,279	$\Delta 4,750$	+3,179

(ご参考) 連結営業利益増減要因(前回見通し差)

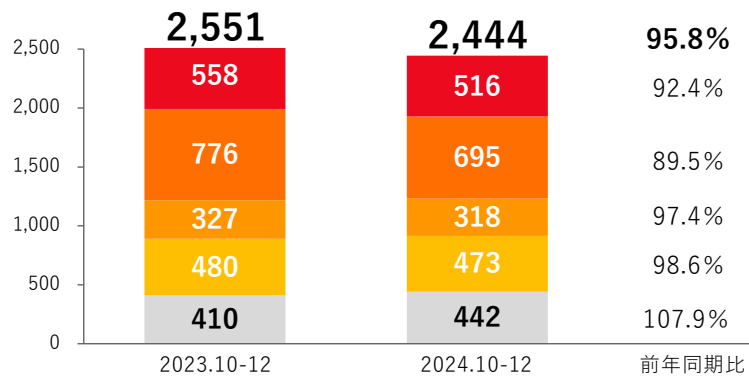
(単位: 億円)



*1 内訳	*2 内訳	*3 内訳	*4 内訳
輸出入等の外貨取引分 +3,400	台数・構成 +400	労務費 +400	スワップ等の評価損益 △150
- 米ドル +2,850	バリューチェーン +600	減価償却費 +600	インフレ会計等の影響 △184
- ユーロ +300	金融事業 +400	研究開発費 +400	日野認証関連 △548
- その他通貨 +250	補給・用品/中古車/コネクティッドほか +200	経費ほか △650	その他 △318
海外子会社の営業利益換算差ほか △450	その他 +550		

(ご参考) 連結販売台数(3ヶ月)

(単位:千台)



- 日本
- 北米
- 欧州
- アジア
- その他
 - ・中南米
 - ・オセアニア
 - ・アフリカ
 - ・中東など

ご参考 (小売)

トヨタ・レクサス販売台数	2,736	2,729	99.8%
電動車 [比率]	1,011 [37.0%]	1,284 [47.0%]	126.9%
内、HEV	951	1,212	127.5%
PHEV	32	40	123.3%
BEV	28	32	114.7%
FCEV	0	0	51.3%
グループ総販売台数	2,968	2,922	98.5%

(ご参考) 連結決算要約(3ヶ月)

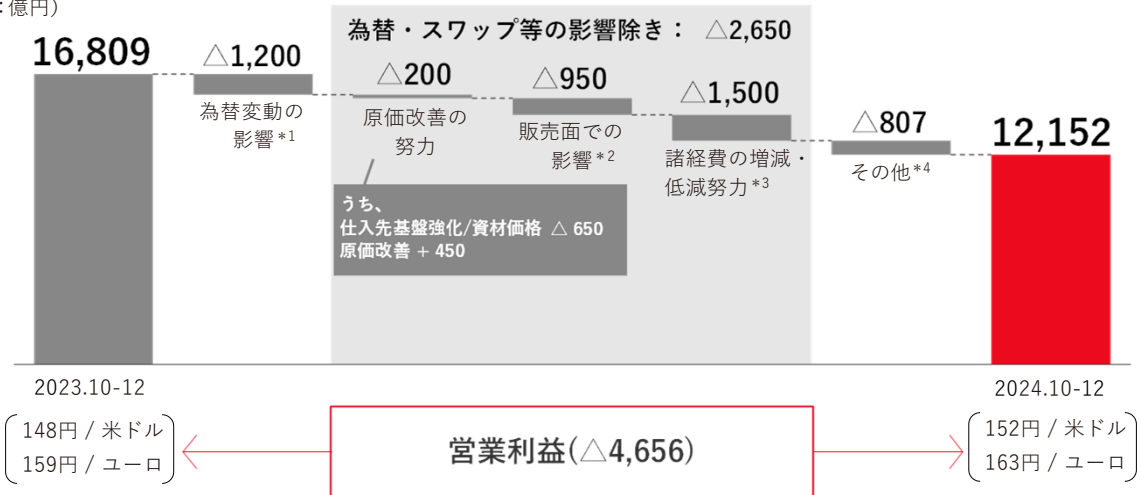
(単位：億円)

	2023.10-12	2024.10-12	増減
営業収益	120,411	123,910	+3,499
営業利益	16,809	12,152	△4,656
営業利益率	14.0%	9.8%	
営業外損益	1,545	14,827	+13,281
持分法による投資損益	2,176	1,904*	△272
税引前利益	18,355	26,980	+8,624
親会社の所有者に帰属する当期利益	13,578	21,932	+8,354
当期利益率	11.3%	17.7%	
為替レート			
米ドル	148円	152円	4円円安
ユーロ	159円	163円	4円円安

* うち、日本1,400 (前年同期比+365)、中国309 (同△661)、その他193 (同+24)

(ご参考) 連結営業利益増減要因(3ヶ月)

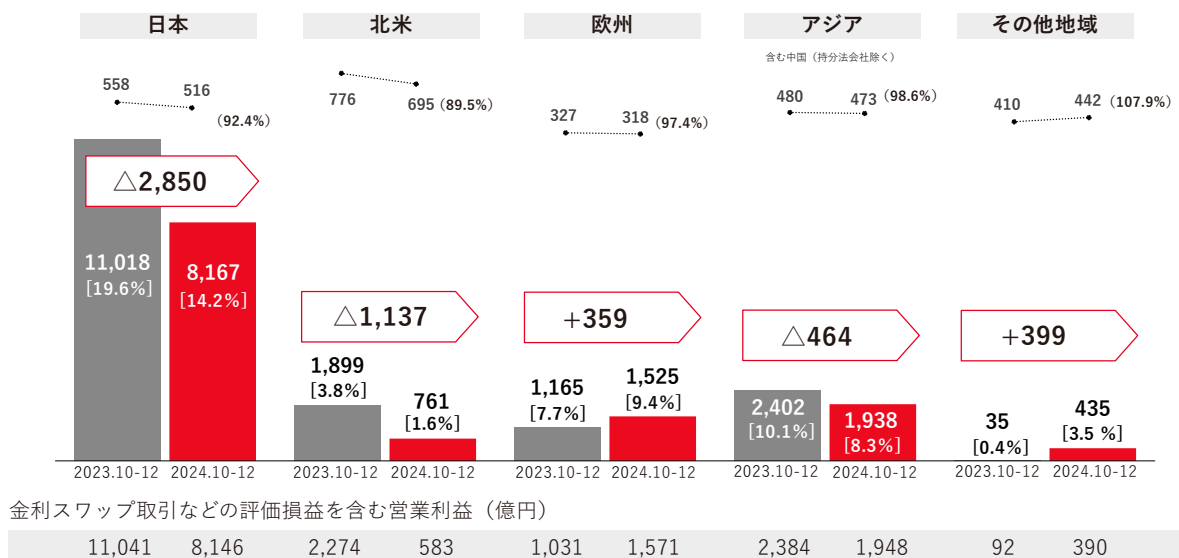
(単位: 億円)



*1 内訳		*2 内訳		*3 内訳		*4 内訳	
輸出入等の外貨取引分	+350	台数・構成	△1,850	労務費	△550	スワップ等の評価損益	△490
- 米ドル	+600	バリューチェーン	+1,050	減価償却費	±0	インフレ会計等の影響	+646
- ユーロ	+100	- 金融事業	+450	研究開発費	△350	日野認証関連	△548
- その他通貨	△350	- 補給・用品/中古車/コネクティッドほか	+600	経費ほか	△600	その他	△415
海外子会社の営業利益換算差ほか	△1,550	その他	△150				

(ご参考) 所在地別営業利益(3ヶ月)

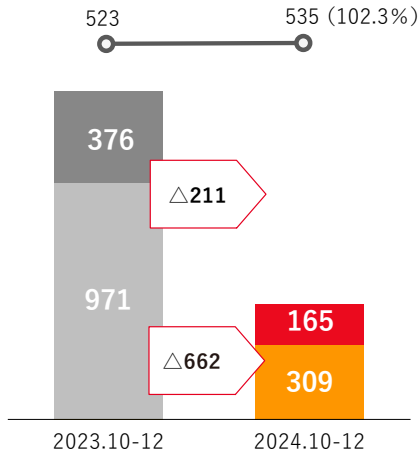
■ 営業利益 (億円) <金利スワップ取引などの評価損益を除く> [] 営業利益率 ●---● 連結販売台数 (千台)



(ご参考) 中国事業/金融セグメント(3ヶ月)

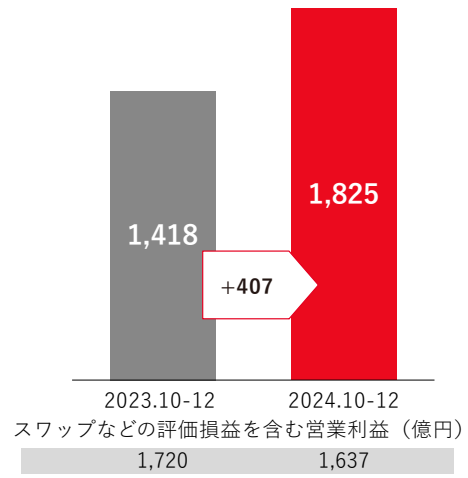
中国事業 (ご参考)

- 連結子会社 営業利益 (億円)
- 持分法適用会社 持分法による投資損益 (億円)
- トヨタ・レクサス販売台数 (千台)



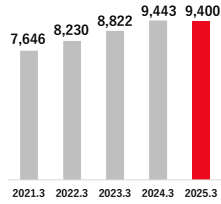
金融セグメント

- 営業利益 (億円) <スワップなどの評価損益を除く>

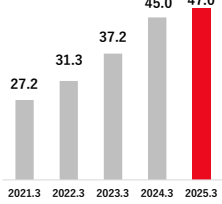


(ご参考) 業績推移

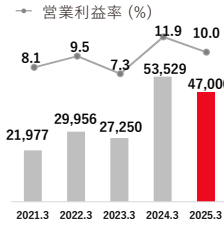
連結販売台数 (千台)



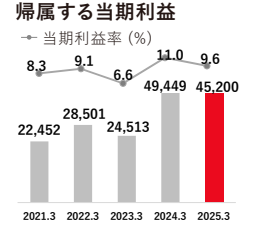
営業収益 (兆円)



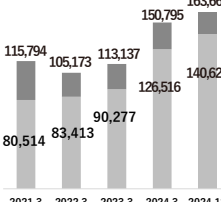
営業利益 (億円)



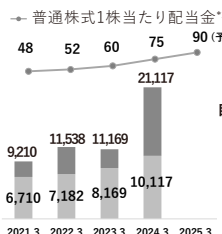
親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円)



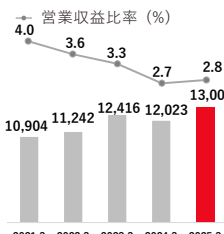
総資金量*1 (億円)



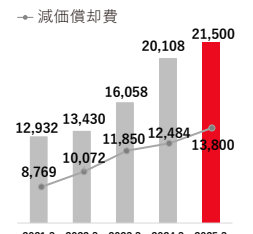
総還元額 (億円)



研究開発費*4 (億円)



設備投資 (億円)



*1 金融事業を除いた、現金および現金同等物、定期預金、公社債および信託ファンドへの投資

*3 1株当たり配当額は株式分割（当社普通株式1株につき5株の割合で2021年10月1日に実施）後ベース

*4 報告期間中に発生した研究開発活動に係る支出額

*2 リース債務は含まない

■ 見通し

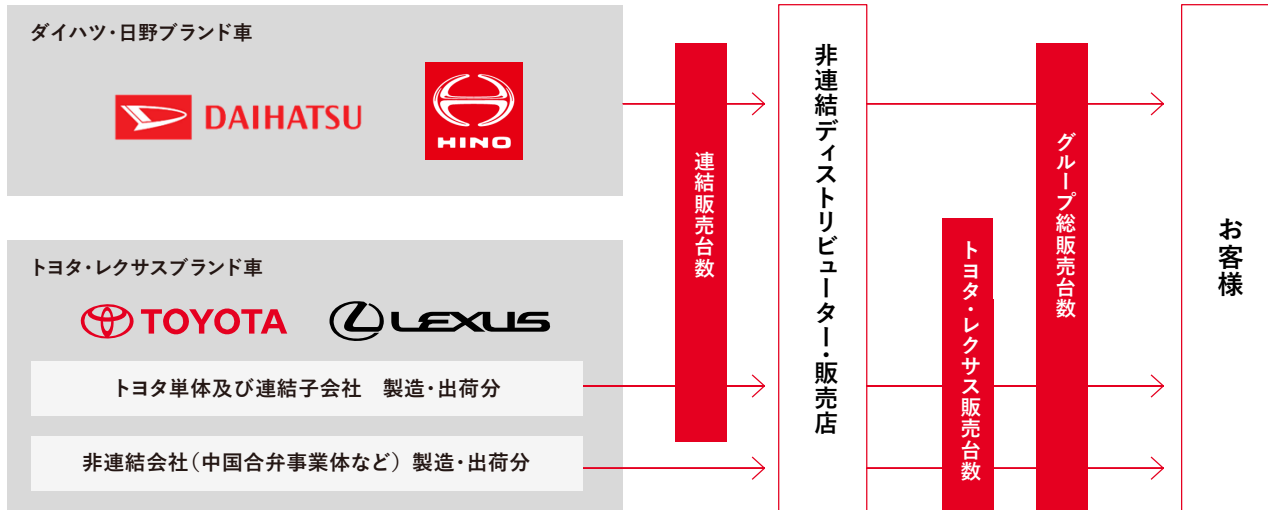
(ご参考) 台数見通し

(単位:千台)

		前回見通し 2024.4-2025.3	今回見通し 2024.4-2025.3	増減	前期実績 2023.4-2024.3	
トヨタ・ レクサス	生産 *	国内	3,280	3,270	△10	3,309
		海外	6,420	6,430	+10	6,663
		合計	9,700	9,700	±0	9,972
	販売 (小売) *	国内	1,500	1,500	±0	1,530
		海外	8,600	8,600	±0	8,780
		合計	10,100	10,100	±0	10,309
グループ総販売(小売) *		10,850	10,850	±0	11,090	

* 非連結会社による台数を含む

(ご参考) 販売台数について



*一部例外的に、上記フローに当てはまらないケース有り